※令和４年度以降入学生用

学校番号	1004

令和５年度　音楽科

教科	音楽	科目	こども音楽	単位数	２単位	年次	２年次
使用教科書							
副教材等							

１　担当者からのメッセージ（学習方法等）

音楽を通して子どもとのスキンシップやコミュニケーションの大切さを知り、豊かな心を育みます。

音や音楽を使って笑いが広がるような身近な遊びを考え、創造する力を養うとともに、自己表現の幅を広げることをめざします。

２　学習の到達目標

（１）発声や楽器の素材を知り、創意工夫を生かした音楽表現をするために必要な技能を身に付け表現することができる。

（２）音楽を形づくっている働きを知り、子どもに音楽の楽しさを伝えるための演奏法を考え、演奏することができる。

（３）音や楽器遊びに関心を持ち、音楽を形づくっている要素を知覚し、それらの働きを感受しながら、子どもの創造力を育むことを考えることができる。

３　評価の観点及びその趣旨

観点	a:知識・技能	b:思考・判断・表現	c:主体的に学習に取り組む態度
観点の趣旨	楽曲の文化・歴史的背景や音楽の構造と曲想との関わり及びその多様性について理解を深めている。 音楽表現を創意工夫したり、自分の表現意図を音楽で表現したりするために必要な技能を身に付けている。	音色、リズム、旋律、テクスチュアを知覚し、それらの働きを感受しながら個性豊かに音楽表現を創意工夫することや音楽を評価しながらよさや美しさを自ら味わって聴いている。	主体的・協働的に音楽の諸活動に取り組み、音楽文化に親しみ、音楽によって生活や社会を明るく豊かなものにしていこうとしている。

上に示す観点に基づいて、学習のまとまりごとに評価し、学年末に５段階の評定にまとめます。学習内容に応じて、それぞれの観点を適切に配分し、評価します。

※令和４年度以降入学生用

４　学習の活動

学期	単元名	学習内容	単元(題材)の評価規準	評価方法		
				知(a)	思(b)	主(c)
1学期	音を身体で伝えよう	**【器楽】** リズム遊び 楽器遊び **【歌唱】** 手遊び	a:表現したいことを伝えるための歌唱や器楽の技能を身に付け、創造的に表している。 b:リズム、拍子、速度、強弱を知覚し、それらの働きを感受しながら、音楽表現を工夫し、どのように演奏するかについて表現意図をもっている。 c:曲種に応じた発声、楽器の音色や奏法の特徴に関心を持ち、それらを生かして学習に主体的に取り組もうとしている。	観察 ワークシート	演奏の聴取	観察
2学期	歌と言葉で伝えよう	**【歌唱】【創作】** ペープサートを作ろう	a:曲想を歌詞や楽曲の背景と関わらせて音素材を工夫し、イメージをもって音楽表現するために必要な技能を身に付けている。 b:リズム、速度、旋律、強弱を知覚し、それらの働きを感受しながら表現したい音楽をイメージして、どのように歌うかについて表現意図をもっている。 c:音階や旋律、曲想と表現上の効果と関わりに関心を持ち、イメージをもって学習に主体的に取り組もうとしている。	観察 ワークシート	演奏の聴取	観察

※令和４年度以降入学生用

３学期	音楽劇	**【歌唱】【器楽】【創作】【鑑賞】** 音楽劇を作ろう	a:曲想を歌詞の内容や楽曲の背景と関わらせて感じ取り、音素材の特徴を工夫し、イメージをもって音楽表現するために必要な技能を身に付けている。 b:音楽を形づくっている要素を知覚し、それらの働きにより曲想を歌詞の内容や楽曲の背景と関わらせて感じ取り、音素材や奏法の特徴を生かし、表現したい音楽をどのように演奏するかについて表現意図をもっている。 c:音素材の特徴や曲想と歌詞の内容、楽曲の背景、表現上の効果との関わりに関心を持ち、イメージをもって学習に主体的に取り組もうとしている。	観察 ワークシート	演奏の聴取	観察

※　表中の観点について　a:知識・技能　b:思考・判断・表現　c:主体的に学習に取り組む態度